ずいそう



ジャズの楽しみ



小 河 義 文

1. ジャズとの出会い

ジャズに興味を抱いたのは、かれこれ 40 年ほど前 のことです。社会人になって、何か楽器がやりたくて、 街の音楽教室に行ったのがきっかけでした。

その時の講師がジャズ好きで、最初はトランペット を習っていましたが、その後、ドラムやベースも手が けるはめになりました。

吹奏楽でフルートをやっていたため、譜面を読む基本的なことは一応は理解していたので、色々な楽器にも、余り抵抗はありませんでした。

その教室では、講師からジャズ・アドリブやジャズ・フレーズ奏法などの手ほどきを受けたほか、ジャズの楽しみも教えてもらいました。

何しろ給料も安かったので、帰省の費用がなくて、 大事なトランペットを一時的に質入れしたこともあり ました。

当時はマイルス・デビスやソニー・ロリンズ, ジョン・コルトレーンといった, いわゆるモダンジャズ (ダンモなどと呼ばれていた…) が盛んで, 専門月刊誌などに浸っていました。

今もジャズ・ライブハウスが結構盛んですが、当時 はジャズ喫茶と称していて、そこへフルート持参で出 かけて、セッション・ライブを夢中でしていました。

若かりし頃の渡辺貞夫さんが良くやっていた、ボサノバも好きで、特にフライ・ミー・トゥ・ザ・ムーンや黒いオルフェなどは、フルートでの得意な曲でした。

当時は商店街や街のイベントで、演奏依頼が結構 あって、あちこち行きましたが、ある時、山中の神社 のようなところで、夏祭りの演奏依頼で行ったのです が、強烈なヤブ蚊の襲撃で、演奏もままならなかった こともありました。

楽器はいろいろやってみようと思い、ものになった かどうかは別にして、ドラム、ベース、ギター、エレ クトーン、トランペット、サックスなど一応は手がけ てみました。

今はビッグバンドのコンサートマスターをしている のですが、こうした各種の楽器の経験が、大変役に立っ ています。





2. レコードの楽しみ

今でこそ音楽の音源は CD ですが、ジャズとめぐり 会った頃は 33 回転アナログレコードが主流でした。

いわゆるジャズの名盤などと言われるレコード盤などを買い揃えるのも趣味になっていました。今でもそれは、現存財産として残してあります。

今でもたまに、古いレコードを引っ張り出して針を落とすこともありますが、音楽 CD にありがちな、粒がたった鋭利な音ではなく、レコードのウォームな音のなかに、たまにスクラッチノイズが入る雰囲気がとても好きです。

我が家のリスニング・ルーム(四畳半の大きさは,リスニング・ルームと呼べるのか…)では,現在 JBL の小型スピーカをパラ接続して,4 本にしていますが,これが実にジャズに向いている音がするのです。



3. ビッグバンドとの出会い

ビッグ・バンド・ジャズをずっとやりたいと思っていました。しかし転勤などでなかなか、グループが見

つからなかったのですが、定住地決定とともに、ようやく地元のビッグバンドに入ることができたのが20年ほど前のことです。

パートはベースでした。ベースはコンボバンドを組んでやっていたので、まるっきり初めてではありませんでしたが、ビッグバンドの譜面を見て、合わせられるようになる迄には、かなりの時間と訓練を要しました。

それでも、かなりのめり込み、一時期は2つのビッグバンドを掛け持ちしていた時期もありました。

ビッグバンドは,通常サックスが5本,トロンボーンが4本,トランペットが4本,それとリズム隊と呼ばれる,ピアノ,ギター,ベース,ドラムの総勢17名が標準編成となります。

中でもビッグバンドの縁の下の役目として,グルーブを支えるのが,リズムパートとなりますが,小気味よいスイングのリズムが決まったときは,達成感と充実感があります。

ビッグバンドのナンバーは、カウント・ベイシーやグレン・ミラー楽団など、多くの名曲がありますが、どれも楽しくスイングし、バンド全体が一体となって、グルーブするとき、何とも言えない気持ちよさがあるのです。

4. コンマスの悩み

現在地元のビッグ・バンドで、コンサート・マスター (通称コンマス、もじって、カンマスといわれること も…) の役目を負っています。

社会人バンドの場合,楽器の腕は中級者レベルから プロと思われるレベルのメンバーの集合体ですので, 合わせが結構大変なのです。

しかもメンバーは、各々職業を持っているほか、働き盛りの中年あるいは、そろそろ技術の伝承を考えなければならない年金生活予備軍もいるのです。

従って生活優先もやむを得ないこともあり、定期練習でパートが埋まらないことも多く、練習でのまとめも大変です。

練習では音程ピッチ合わせ、細かいニュアンスの指示、楽曲の仕上げ、カウント出しなど多くの仕事があります。



5. 定期演奏会

地域の音楽ファンの皆さんに向けて,毎年10月に 所属ビッグバンドの定期コンサートをしています。

昨年は第18回のコンサートをやりましたが,800 人収容の市民会館大ホールが,満席になるほどの盛況 でした。

演奏会にこぎ着ける迄には、会場の予約から当日の 舞台セット、曲の仕上げ、PAの調整など、下準備が 大変なのですが、終了後の充実感は格別です。

コンサートでは、カウント・ベイシーやグレンミラーなど、いわゆる定番のナンバーを始め、ポピュラーやラテンも織りまぜて、どなたにでも楽しんでもらえるよう工夫をしています。

6. 今後の活動

地域施設へのイベント出演や震災復興支援コンサートなどの活動もしてきました。今後も地域や音楽ファンの皆さんに楽しんでもらえるような活動をしていきます。

そして多忙な日々の潤滑油として,今後もジャズを 楽しんで行きたいと思っています。